

2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月12日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 2021年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	465	△1.0	2	64.2	3	—	1	—
2020年10月期第1四半期	470	4.5	1	—	△0	—	△1	—

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 1百万円(—%) 2020年10月期第1四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	1.31	1.27
2020年10月期第1四半期	△1.73	—

(注) 2020年10月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第1四半期	1,113	449	40.4
2020年10月期	1,148	446	38.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 449百万円 2020年10月期 446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	978	1.9	12	—	11	—	5	—	4.56
通期	1,969	6.3	22	10.5	20	△33.2	9	481.7	8.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年10月期1Q	1,136,000株	2020年10月期	1,134,000株
2021年10月期1Q	242株	2020年10月期	242株
2021年10月期1Q	1,134,975株	2020年10月期1Q	1,128,254株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予測に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、2020年11月からの第3波と呼ばれる感染者数の急激な増加で医療機関の逼迫が深刻化し、2021年1月からは大都市圏内を中心に政府による緊急事態宣言が再発出される等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2020年11月から2021年1月までの、らん鉢取扱金額は1,209百万円（前年同期比0.1%減）、数量では353千鉢（前年同期比7.3%減）と、数量は前年同期比微減だったものの、取扱金額はほぼ同等の傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ブライダルの再延期や各種イベント開催の見送り等で受注件数が減少いたしました。主力の法人贈答用胡蝶蘭は新規顧客開拓及び既存顧客への提案をオンライン対応に切り替えることで、これまで以上にスムーズに幅広く細かい対応が可能となった部分もあり、対面とオンラインのハイブリッド型の営業体制で取り組みました。2021年1月からの緊急事態宣言発出下においては、営業時間の短縮や人員を最小限にする等の自粛体制で営業を継続いたしました。ブライダル部門への影響が大きく、売上高は減少いたしました。

ナーセリー支援事業におきましては、引き続きオリジナル園芸資材の販売に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。

フューネラル事業におきましては、新規顧客開拓に注力したことから、売上高は堅調に推移いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費管理の強化や旅費交通費の減少等により減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は465,700千円（前年同期比1.0%減）、営業利益2,260千円（前年同期比64.2%増）、経常利益3,232千円（前年同期は経常損失503千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,489千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,952千円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、ブライダルの延期又は再延期、各種イベント開催の見送り等により受注件数が大幅に減少いたしました。

一方で、主力の法人贈答用胡蝶蘭は、既存顧客に対してオンライン対応を増やすことで、これまで同様のサービス提供を継続したことで、売上はほぼ前年同期比同等の傾向で推移いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は280,585千円（前年同期比9.3%減）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き当社オリジナル園芸資材の販売に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。また、愛知県豊橋市において、観葉植物等の自社生産を目的とした事業所「愛知農場」を2020年11月に新設し、2021年3月以降の出荷に向けての体制整備を順調に進めることができました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は144,995千円（前年同期比11.9%増）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓の営業強化に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。しかしながら、葬儀業界の環境としましては、大都市圏を中心に家族葬や密葬等、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小が続いており、葬儀単価が下落傾向にある中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、葬儀参列者の減少や葬儀規模の縮小に拍車がかかり大きく影響を受けております。

今後は地方都市におきましても同様の傾向が顕著化していくものと考えられますので、引き続き変化していく葬儀業界全体の環境に柔軟に対応していくために、既存取引先や葬儀業界関係企業との情報共有に取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は40,119千円（前年同期比27.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,113,440千円となり、前連結会計年度末と比べ35,123千円減少しました。

流動資産は966,186千円となり、前連結会計年度末と比べ49,156千円減少しました。その主な要因は、仕掛品が30,430千円増加した一方で、現金及び預金が57,207千円、受取手形及び売掛金が30,187千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は147,253千円となり、前連結会計年度末と比べ14,033千円増加しました。その主な要因は、のれんが770千円減少した一方で、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェア仮勘定が13,500千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は663,504千円となり、前連結会計年度末と比べ38,163千円減少しました。

流動負債は299,448千円となり、前連結会計年度末と比べ4,576千円減少しました。その主な要因は、賞与引当金が5,456千円減少したことによるものであります。

固定負債は364,055千円となり、前連結事業年度末と比べ33,586千円減少しました。その主な要因は、長期借入金が33,345千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は449,936千円となり、前連結会計年度末と比べ3,040千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,489千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、2020年12月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623,780	566,573
受取手形及び売掛金	230,654	200,466
商品及び製品	38,075	35,152
仕掛品	112,163	142,593
原材料及び貯蔵品	153	153
その他	28,942	38,633
貸倒引当金	△18,425	△17,386
流動資産合計	1,015,343	966,186
固定資産		
有形固定資産	16,644	16,145
無形固定資産		
のれん	25,422	24,651
その他	9,098	22,226
無形固定資産合計	34,520	46,878
投資その他の資産		
その他	90,373	92,549
貸倒引当金	△8,318	△8,318
投資その他の資産合計	82,054	84,230
固定資産合計	133,220	147,253
資産合計	1,148,564	1,113,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,715	60,737
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	122,152	122,904
未払法人税等	2,352	2,308
賞与引当金	11,753	6,297
株主優待引当金	3,090	3,090
その他	82,962	84,111
流動負債合計	304,025	299,448
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	373,751	340,406
その他	3,891	3,649
固定負債合計	397,642	364,055
負債合計	701,668	663,504

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,188	140,336
資本剰余金	92,173	92,321
利益剰余金	214,001	216,452
自己株式	△465	△465
株主資本合計	445,898	448,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	997	1,292
その他の包括利益累計額合計	997	1,292
純資産合計	446,896	449,936
負債純資産合計	1,148,564	1,113,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年1月31日)
売上高	470,452	465,700
売上原価	271,040	271,978
売上総利益	199,411	193,722
販売費及び一般管理費	198,034	191,461
営業利益	1,376	2,260
営業外収益		
受取利息	23	24
受取配当金	51	5
持分法による投資利益	—	359
為替差益	—	809
その他	126	414
営業外収益合計	202	1,612
営業外費用		
支払利息	315	619
持分法による投資損失	1,522	—
その他	243	21
営業外費用合計	2,082	640
経常利益又は経常損失(△)	△503	3,232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△503	3,232
法人税、住民税及び事業税	1,436	1,013
法人税等調整額	12	730
法人税等合計	1,448	1,743
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,952	1,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,952	1,489

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,952	1,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	294
その他の包括利益合計	7	294
四半期包括利益	△1,944	1,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,944	1,783
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生及び重要な変更はありません。